

磐城時報

日 九 廿
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
一部金貳圓 一月金拾圓
廣告料 一行十二字日金廿錢
日刊(日曜祝祭日除日休刊)

本町裏道路化 地元寄附金で行惱む

南町地主が 應ぜぬ

市内本町通り南の愛谷江筋には異論が多く纏らないの堤塘の道路化計画は慶報の二十八日土木委員会を開き、本年から二年の継続で、南町地主代表の出席を事業として着工する事にならぬと懸念した結果、南町に於いては、受益者の地主負担區長から各地主に交渉するとして、一間當り十圓内外の事になつたが、平市發展の寄附を工費の一部に仰ぐ豫意味から各地主も急速に承定で本町通り、鍛冶町の地帯するであらうと見られて主は承諾したが南町の地主は、

小名濱硫安工場の敷地買収進む

小野町長が 斡旋

日本水産工業株式会社では平市公會堂建築委員会は二小名濱町高山落内に十萬九千九百九十九坪の敷地を求め硫安工場を設計變更の件について協議建設すべく過般來敷地買収した

日本水産工業株式会社では平市公會堂建築委員会は二小名濱町高山落内に十萬九千九百九十九坪の敷地を求め硫安工場を設計變更の件について協議建設すべく過般來敷地買収した

七年の刑を終えて
左翼闘士出獄
小名濱町の丹野せつ
實兄が更生を計る

七年が経過し愈々この三十日刑満ちて出所する事になった、服役七年間の悔しい社會情勢の推移、左翼全盛も全く昔の夢と化した丹野せつは感慨は無量なものがある。丹野せつは三十日出所し一先づ郷里小名濱町で自轉車業を営んでゐる實兄丹野一男氏の許に落ちつき困窮の生活に疲勞した身體を休め健康が恢復した身で東京に渡政の實母(一)が東京市牛込區富久町一三(二)に居るのでとうとう共に新生活の第一歩を踏み出す事になつたといふ、丹野せつは前年陸軍士官學校を卒業し少尉に任官した際父と共に郷里を訪れたが知人や親戚なく詳細は不明である

植田町會 小濱漁港の船溜工事協議

植田町では小濱漁港船溜工事着手につき二十七日町會を開き工事は縣に依託し縣直營工事として二十九日縣土木課木村技師の視察後直生活の第一歩を踏み出す事になつたといふ、丹野せつは前年陸軍士官學校を卒業し少尉に任官した際父と共に郷里を訪れたが知人や親戚なく詳細は不明である

植田町では小濱漁港船溜工事着手につき二十七日町會を開き工事は縣に依託し縣直營工事として二十九日縣土木課木村技師の視察後直生活の第一歩を踏み出す事になつたといふ、丹野せつは前年陸軍士官學校を卒業し少尉に任官した際父と共に郷里を訪れたが知人や親戚なく詳細は不明である

粗糶料金 値上決定

石城動力粗糶組合理事會は昨報の如く二十八日午前十時から市内マルトモホールに開き來月三日四日頃開かれる提出議案粗糶料金改正に關し協議する、粗糶料金は一昨年來倍當り十四錢で浦氏の銅像は過般來同校庭に建設中であつたが竣功したので來月三日午前九時から除幕式を舉行する

草野氏銅像 除幕式を舉行する

草野氏銅像は過般來同校庭に建設中であつたが竣功したので來月三日午前九時から除幕式を舉行する

山崎與三郎翁 容態恢復

市内鹽屋山崎與三郎翁は過般病氣重なり危篤に陥つた旨既報の如くであるが、その後容態漸次良好に向ひ現在少康を得てゐるので家族一同歡喜を閉いてゐるが、高齡の事とて、警戒してゐる

平漢線の激戦 小泉中尉戦死

草野村泉崎出身

草野村泉崎出身歩兵中尉小泉(二五)氏は日支事變處では第一線に活躍してゐたが去る二十四日平漢線保定の激戦で壯烈な戦死を遂げた旨通知があつた、氏の一家は約四十年前東京に移住父延隆氏(五八)は陸軍歩兵軍曹で永らく帝國在郷軍人會に勤めた事あり現在滿洲國主計となつてをり、小泉氏は三年前陸軍士官學校を卒業し少尉に任官した際父と共に郷里を訪れたが知人や親戚なく詳細は不明である

湯本區議候補 定員超過

來月一日執行される湯本區會議員選舉は候補の如く時局柄湯本角上の小競り合ひを避くる爲大體選氣分が濃厚であつたが期日の切迫に伴い漸次局面が展開し満更無競争では濟まない雲行き

湯本區議候補定員超過、來月一日執行される湯本區會議員選舉は候補の如く時局柄湯本角上の小競り合ひを避くる爲大體選氣分が濃厚であつたが期日の切迫に伴い漸次局面が展開し満更無競争では濟まない雲行き

秋刀魚密漁を防ぐ 漁業規則改正論

漁業規則改正論

廿一日のサンマ解禁日を目ざして北海道エリモ岬沖合へ集結した本縣並に茨城、千葉、宮城、青森の各サシ船漁船百數十隻に對し、氣仙沼、釜石等沿岸各港では初サシの解禁日を期待して待機してゐた處驚いたこと、八萬尾、氣仙沼港へ銚子

松孝平、馬目隆義、大井川正巳諸氏の顔が敢然立候補を聲明し或は着々聲明の準備を進めつゝある外目下ガラ明となつてゐる辰の口から一名を豫想するなど結局定員の十二名を超過する事三名と云ふ事になるらしく最後の五分間に入ると共に相當熱が昂つて來る情勢を示して來た

夜
腸胃科
胃腸病科
花柳病科
泌尿器病科
皮膚病科
肛門病科
門專
院醫科性胃村松
(番七〇一電) 町南市平
療

新設
内臓外科
エツキス光線
産婦人科
安齋醫院
長院安齋徹
醫學士黒澤廣
入院隨意
平市田町
電話 四七五

市仲由丸四萬五千尾、釜石港へ宮城縣桃丸九萬尾等が水揚げしたが、初秋刀魚として取引不能となり大いに叩かれて僅一尾二錢と言ふ安値に仕切られ、漁場遠隔のため一番遅れて入港した茨城縣湊町庄丸十七萬尾等は遺憾にも初サシとして縣民の食膳に見參する事が出来ず大恐慌を來してゐる、秋刀魚解禁日は何等の相談に預つて居らず取締りの制限外には該當しないから密漁には該當しない、其の取締りに困惑してゐる、

平市田町 (電話五二三番)

高久病院

院長 高久忠
副院長 赤羽清
藥局長 佐竹菊雄

内科小兒科
耳鼻咽喉科
外科花柳病科
レントゲン科

吸入用酸素純度99%

モノサシ
ハカリ
マス

体温器
寒暖計

回秤ノ取締・鉦系・修覆致シマス
回寫眞機
材料一式

關内藥局

電話四〇番

パーマネット

マシンの設備
●非常時に備へる
銃後婦人の途

これこそ一回の御手當で
六ヶ月を保つパーマネット……を

☆時間の經濟と能率増進……
☆非常時にふさはしい御洋髪……
☆洗髪も御任意のよう……

△パーマネットは歐洲大戰以來流行
御家庭の満足も、美容の保全から生る。

平驛前

水野化粧院

主 水野冬子
電話(五二五番)
(六七八番)

370 Safety 370
"PART" STROPS
WITHOUT
SELF
BLADE



安全剃刀、自動研皮砥付、白衣、鏡(大小各種)

化粧品・理髮器具一式

クリーム、ポマード、ハカリ賣り

芳香園理髮器具店

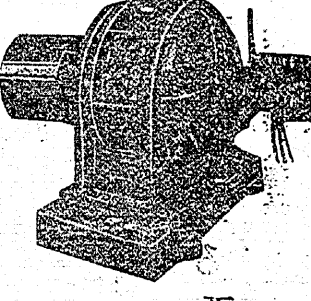
平驛前(電話六八〇番)

ウキザロン

男給の店

食事
喫茶
酒場

町田・平
(二五三電)



モートル高圧器 修理販賣

平月見町

佐藤鐵工所

(電話三六一)

豆炭特賣

品川豆炭

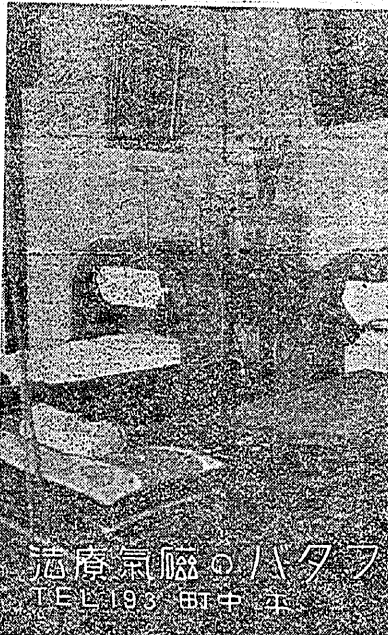
大袋五貫匁入 金七十五錢
小袋壹貫匁入 金二十錢

品質豆炭界ノ最良品
壹袋カラ配達致シマス、ドウソ御用命願ヒマス

平驛前

阿部石炭商店

電話三七番



石城中小商工互融會

事務所 福島縣平市橋本路一丁目
電話五五五番

互融會事業報告 八月中

融通口數 一六一口
融通金額 七三五六・五〇
滿期拂戻口數 二九口
滿期拂戻金額 一、四四〇・〇〇

概況 昭和十二年八月末現在
會員數 七、九五二口
世帯數 五、二二三戶
積立金 一〇三、六〇八・七七
融通金額 一、三六七・七五
融通金回収高 五三、六六六・〇〇

滿期拂戻口數 二六一口
滿期拂戻金額 二、三三五・〇〇

小名濱方部 湯本方部
小名濱町古港 湯本町天王崎
菊田方部 相双支部
植田町臺町 原町東一番町

債券 賣買

質物一般

多田井商店

平市大工町
電話 五九一
振替仙台一五三九

開業廣告

齒科一般

平市田町(安濟醫院向)
齋藤醫院

東京齒科醫學士 齋藤賢三

開院廣告

平病院

電六四一番

平市警察署側(元共濟病院跡)
院長 醫學博士 鈴木定藏

内科 院長 醫學博士 鈴木定藏
小兒科 部長 醫學士 木下基一
皮膚泌尿器科 部長 醫學士 池谷宗三郎
產婦人科 部長 醫學士 鈴木定藏
物理療法科 技師 岡田重徳
藥劑科 部長 藥劑師 吉本孝平

◎診療時間 毎日午前八時ヨリ午後九時迄
夜間診療ニ從事ス
往診隨時 (急患ハ此ノ限リニテラズ入)
病室完備：入院隨時【自炊ノ便アリ】
入院料 一日 特等貳圓、一等壹圓五拾錢